



活動報告

〈佐々木隊員〉

ただいまお土産品として開発中のけんぶち野菜クッキーを町の皆さんに知っていただきたいと思い、道の駅のイベントで協力隊ブースを設け、試食コーナーを実施しました。アンケートを設置し、「美味しい(商品化しても良い)」、「まあまあ」、「もうひと頑張り」の3つの欄を設けたところ、なんと95%の方が「美味しい」欄に投票してくださいました。とても励みになりましたが、同時に課題も見つかったので、さらに美味しくなるように、その後も試作を重ねています。今後も町内のイベントや集まりにお邪魔して、ご試食いただき、より魅力的なお土産品になるようアドバイスいただければと思っています。

また、ブースでは剣淵のマンホールの缶バッジを販売しました。剣淵のマンホールは、ぷっちょなやアルパカ、絵本や施設など、特徴がたっぷり詰まっており、マンホールファンでなくとも「可愛い!」と好評のデザインです。缶バッジは今後も絵本の館などで販売予定ですので、ぜひお手にとってみてください。

協力隊ブースの様子



〈青木隊員 「雪の日 = 家にこもる = 手作りしたくなる...?」〉



雪が降ったら外出が億劫になって、その結果家にこもることが多くなり、暇をつぶすために何か手作りしたくなるのではないかと剣淵移住前の私はそう思っていました。でも、剣淵で過ごした初めての冬の間、私は料理以外は特に手作りしませんでした。元来面倒くさがりな私は、時間があっても手作業したいと思えず、そんな私を置いて冬は通り過ぎていきました。

冬の過ごし方も色々あるとは思いますが、外国に目を向けてみると冬は温かい飲み物を楽しむ季節のようです。ホットワイン、ホットチョコレート、ホットアップルサイダーなどがありますが、コーヒーもその一つ。

「じゃ、今年はとりあえずコーヒーでも飲みながら冬を迎えるか!」と思っていたら、絵本の館で開かれる絵本とコーヒーのイベントにお手伝いとして参加することになりました。

絵本とコーヒーのイベントは、11月19日(日) 13:00~15:00 絵本の館にて開催されます!
※定員15名(申込要/参加費600円)

活動報告

〈鈴木隊員〉



剣淵町保育所の収穫体験にお邪魔しました。土をいじり、じゃがいもやニンジンに楽しそうに触れる子供たち。農業ってステキと思える瞬間でした。

今月から数回にわたり、平成29年度の農業ブランド化事業の進捗状況と今後の計画を報告いたします。そのため、いつも以上に真面目な文章になりますが、ご了承をお願いします。

1つ目は、昨年度から継続して行っている農産物生産団体の農産加工品・直売農産物パッケージに農業ブランドマークの挿入と絵本の里を連想するような商品パッケージへのリニューアルを8団体に支援して、消費者に剣淵町産というイメージを印象づける取り組みを行っています。残り2団体となり、本年度内には農業ブランドマーク入りの商品パッケージが道の駅に勢揃いする予定です。

2つ目は、私から提案いたしました「けんぶち農業プロモーション動画」です。剣淵町は良質な農産物の産地であることの認知度向上を図るために、大消費地であり、世界中からの多くの観光客が集まる札幌市の街頭ビジョンで、制作した動画を放映します。動画制作も大詰めを迎えており、皆さんにお披露目できる日も遠くないと思いますので、お楽しみにしていただけると幸いです。

他には、特産品の可能性を持つアロニアを健康食品加工会社へ提供、町内主力作物やキヌアを使用した健康食メニュー開発、新しいお土産品を目指した加工品開発といった取り組みも行っていきます。

今月はここまで。来月は、農産物・加工品のPR販売を報告します。

フェイスブック
地域おこし協力隊のFacebookページ

<http://www.facebook.com/kembuchicok/>

「みんなが考えるまちづくり」インタビュー

【第三回】優しい町のみんなで一緒に！



剣淵町役場 町づくり観光課
主事 竹本 拓矢さん

役場2階「町づくり観光課」に居ます！
剣淵の好きなところは、時間がゆっくりと流れるような雰囲気や、素直な子供たちなどいっぱいあります！

・「町づくり観光課」に勤めておられる竹本さんですが、個人的にまちづくりについてどう考えてますか？

「みんなが『剣淵ってやっぱりいいな』『ずっと居たいな』って思えるよう、環境を整備したり町を盛り上げようとするのが町づくりなんじゃないかと思います。町の人が全員参加で…。『みんなで作ろうよ！みんなでもくしていこうよ！』って。」

・町を盛り上げるといふ点では、お仕事などで町のイベントの多くに携わっておられますが…。

「多くの方々の協力をいただきながらイベントを行ってとても達成感がありますよ。イベントの時に限らず、町民の皆さんはとても優しいです。」

・剣淵の優しさについては日頃よく語られてますよね。

「町外から来る人が町民の皆さんの優しさに直接触れたら『また来たいな』って感じだと思います。そうやって剣淵リピーターがより増えていってほしいな。」

ここでアイデアを紹介したい方は、役場町づくり観光課の地域おこし協力隊青木までご連絡ください！
(電話) 0165-34-2121 (Email) s-aoki@town.kembuchi.hokkaido.jp (FAX) 0165-34-2590